夏ボーナス直前
自分史上最高の家電選び
大型生活家電編

デザインにも注目です

Rule 004 大容量でオススメは?

A. 大家族は東芝

6人以上の大家族向けの大容量モデルは東芝がリード。真ん中野菜室やツイン冷却などで大きくても使いやすい

東芝
FWXシリーズ
実勢価格■30万4500円

Rule 001 棚のレイアウトにこだわりたい

A. 日立ならパズル感覚です

下で紹介している日立の「HWシリーズ」は高さや配置をカスタマイズできる仕掛けが満載。慣れてくるとパズルのように効率よく、楽しく冷蔵庫のレイアウトを作ることができる。

Rule 003 省エネ重視で選びたい

A. 高機能化と言いつつやっぱりエコも三菱

大型家電は高機能化が著しく、省エネを競う時代は終わったが、同じくらいの容量の各メーカーの冷蔵庫の消費電力を比較すると三菱が僅差で省エネ王者に

現行機種の年間消費電力を比較

MR-MX50D	250kw
R-HW60J	259kw
MR-RX46C	264kw
NR-F554WPX	274kw
SJ-GT50D	275kw
NR-JD5103V	315kw
NR-FV45S3	390kw
SJ-F462D	420kw

Rule 002 見た目にここだわりたい

A. 「ガラスすぎる」と悪目立ち注意

オスススメは「グラデ」

オープンキッチンが主流となり、冷蔵庫もデザイン性が強化。ガラストップの製品も増えたが、シルバータイプの「いわゆるガラス」な製品は何でもかんでも写り込むので結構神経質になる。

三菱などはシックなカラーでグラデーションになっているガラスを採用

Rule 005 野菜室をたっぷり使いたい!

A. 今なら断然日立か三菱

鮮度を保つ技術がふんだんに

家電批評 2018年8月号 BEST BUY 冷蔵庫 ベストバイ

家電批評 2018年8月号 BEST BUY 冷蔵庫 ベストバイ

野菜室の高機能化が最新冷蔵庫のトレンドに

省エネや設計の面でハードルが高かった「真ん中野菜室」を三菱が最新モデルで復活。一方で日立は新鮮スリープ野菜室や湿度コントロールなど、徹底した管理能力で鮮度を保つ。この2メーカーは本体幅に対する容量スペックも非常に優秀で、あとは付加機能で好みを選んでほしい。

真ん中野菜室は目の前に立つと実感

小さい野菜などが取り出しやすい構造。目の前に立つと、屈まなくていい真ん中野菜室のありがたみを実感

野菜を「眠らせる」とし、7日間鮮度を保つとうたっているのがポイント。大容量で買いだめにも優しい

三菱電機
MR-MX50D
実勢価格■32万6100円

日立
R-HW52J
実勢価格■26万3400円